

第三卷 現代編Ⅱ 目次

口 絵

まえがき

凡 例

第四章 災害と消防

第一節 災害の記録……………三

第二節 消防組……………一二

一 明治初期の消防警備……………一二

二 近代消防の発足……………一七

(一) 福島消防組……………一七

(二) 新開消防組……………三五

三 戦時下の消防組織……………三九

(一) 防護団の結成……………三九

(二) 警防団の発足……………四三

四 戦後の消防団と木曾福島町消防団の発足……………四六

第三節 林野消防……………四九

第四節 水害と水防……………五八

一 水害の記録……………五八

二 消防組の水防組兼掌……………六六

第五章 兵 事

第一節 徴兵と兵役……………七一

第二節 戦 争……………七五

一 西南戦争……………七五

二 日清戦争……………	七七
三 日露戦争……………	八一
四 濟南事変……………	八五
五 滿州事変……………	八六
六 日華事変 太平洋戦争と戦没者……………	八九
(一) 戦没者の手紙……………	八九
(二) 木曾福島町戦没者名簿……………	九四

### 第三節 忠魂碑の建立

一 福島町 新開村の忠魂碑……………	一一〇
二 郡忠靈殿の創祀……………	一一一

## 第六章 産 業

### 第一節 概 観

一一七

### 第二節 農 業

一一七〇

一 耕地とその利用……………	一一七〇
----------------	------

(一) 土地種別の推移……………	一一七〇
------------------	------

(二) 農家と耕地……………	一一七一
----------------	------

二 米 作……………	一一七五
------------	------

三 畑 作……………	一一八六
------------	------

### 第三節 木曾馬の生産……………

一九六

一 木曾馬生産の歴史的背景……………	一九六
--------------------	-----

(一) 木曾産馬と貢馬制度のはじまり……………	一九六
-------------------------	-----

(二) 山村氏の毛附馬制度……………	一九七
--------------------	-----

(三) 馬市と馬小作制度のはじまり……………	一九九
------------------------	-----

二 明治以降の木曾産馬……………	二〇二
------------------	-----

(一) 明治維新と木曾産馬……………	二〇二
--------------------	-----

(二) 長野県産馬共進会の開催……………	二〇六
----------------------	-----

(三) 木曾産馬組合の設立とその沿革……………	二一三
-------------------------	-----

三 木曾馬の飼養と管理……………	二二〇
------------------	-----

四 木曾馬市……………	二二四
-------------	-----

(一) 馬市の変遷……………	二二四
----------------	-----

(二) 生産頭数と販路……………	二三七
------------------	-----

(三) 馬小作の実態……………	二四〇
-----------------	-----

### 第四節 養 蚕……………

二四九

一 養蚕の変遷……………	二四九
--------------	-----

二 蚕 種……………	二六一
------------	-----

三 真 綿……………	二六九
------------	-----

## 第五節 林業

## 一 山林原野の沿革……………二七一

## (一) 福島 岩郷両区の入会権問題

と町有林……………二七一

## (二) 上田地区町有林の沿革……………三一五

## (三) 黒川林野利用農業協同組合の沿革……………三三六

……………三三六

1 はじめに……………三三六

2 黒川村の山林と住民……………三三六

3 黒川信用組合の創立とその変遷……………三四一

4 黒川林野利用農業共同組合の沿革……………三四一

……………三四一

## 二 恩賜記念林の経営管理……………三四五

## (一) 恩賜記念林の由来……………三四五

## (二) 福島町の恩賜記念林……………三五五

## 三 薪と木炭の生産……………三六四

## (一) 薪の生産……………三六四

## (二) 木炭の生産……………三六九

## 第六節 工業……………三七九

## 一 伝統工業の変遷……………三七九

## (一) 八沢漆器……………三七九

1 八沢漆器の沿革……………三七九

(1) 八沢漆器のはじまり……………三七九

(2) 明治以降の八沢漆器……………三八三

2 八沢の木曾春慶塗……………三九六

## (二) 酒造業……………四〇七

1 江戸時代の酒造株……………四〇七

2 明治以降の酒造業……………四〇八

## (三) 大工と建築業……………四一四

1 木曾大工の系譜……………四一四

2 新開と福島の大工……………四一八

## (四) 屋根板へぎ……………四二四

1 屋根板の需要……………四二四

2 板へぎ職……………四二五

(1) 弟子入りと修業……………四二五

(2) 板へぎの工程……………四二五

## (五) 薬種と製菓……………四二七

1 木曾薬種……………四二七

2 百草と奇応丸……………四二八

## (六) 氷餅と凍豆腐……………四三九

(七) 坪糸の生産……………四四一

## 二 水車とその利用……………四四二

三	水力発電事業の発達……………	四四八
(一)	福島電気株式会社の創立と杭ノ原発電所……………	四四八
(二)	木曾川電力株式会社の発足……………	四五四
(三)	吉田水力株式会社とその功績……………	四五六
四	大同製鋼福島工場の沿革……………	四五七
五	製糸業の発達……………	四六二
六	製材業……………	四七六
七	戦時中の工場疎開とパイオリン工場……………	四七八
<b>第七節 商業</b> …………… 四八一		
一	明治初期の福島町の商業……………	四八一
(一)	諸商業……………	四八一
(二)	同業組合と営業世話役の設置……………	四八六
(三)	町の行事と商店街……………	四八八
(四)	旅籠屋組合……………	四九五
(五)	博覧会の開催……………	五〇〇
二	木曾銀行の創立とその変遷……………	五一一
三	中央線の開通と町の発展……………	五一一

(一)	中央線開通に伴う商工業への影響……………	五一四
(二)	御嶽登山者の増加……………	五二六
(三)	福島実業会と福島商工会……………	五二九
四	町の行事と商店街……………	五三八
(一)	観光協会の創立……………	五三八
(二)	行事と町の繁栄……………	五三九
1	馬市と水無神社の祭礼……………	五三九
2	相撲大会と花祭り……………	五四一
(三)	西筑摩郡町村連合産業共進会の開催……………	五四八
五	戦時下における産業統制と商店街の衰微……………	五六七
<b>第七章 交通の変遷</b> ……………		
<b>第一節 明治初期における交通</b> ……………		
一	道路の整備……………	五七五
二	道路と旅行者……………	五八五
三	橋梁の改修……………	五九四
(一)	概況……………	五九四

(一) 八沢橋	五九七	(一) 明治大正の道路と橋梁	七四〇
(二) 筏橋	五九八	(二) 道 路	七四〇
(三) 大手橋	六〇一	(一) 交通機関	七五一
(四) 行人橋	六〇一	(一) 人力車	七五一
(五) 広 胖 橋	六〇六	(二) 乗合馬車	七六一
(六) 元 橋	六〇七	(三) 運送会社の設立とその変遷	七六六
(七) 幸	六二〇	(一) 宿駅の間屋廃止とその変遷	七六六
一 御巡幸と木曾路	六一〇	(二) 陸運会社の設立	七六八
二 木曾路御通輦	六一六	(一) 中牛馬の変遷と中牛馬会社	七七三
三 福島での送迎	六二六	(二) 福島駅伝取締所の設立	七七九
第三節 中央線の開通	六五五	(三) 内国通運会社と内外用達会社	七八一
一 中山道鉄道の敷設計画	六五五	四 昭和二年福島大火後の道路 橋梁の整備	七九二
二 鉄道招致運動の展開	六六三	五 主要道路の改修	七九九
(一) 第一期運動	六六三	(一) 御嶽街道の改修	七九九
(二) 第二期運動	六七八	(二) 飛驒街道の改修	八一一
(三) 第三期運動	六九二		
(四) 第四期運動	七〇七		
三 鉄道布設工事の進捗	七一三		
四 中央線の全通	七二七		

## 第四節 道路の改修と交通状況

況……………七四〇

一 明治大正の道路と橋梁……………七四〇

(一) 道 路……………七四〇

(二) 中央橋の架橋……………七四九

二 交通機関……………七五一

(一) 人力車……………七五一

(二) 乗合馬車……………七六一

三 運送会社の設立とその変遷……………七六六

(一) 宿駅の間屋廃止とその変遷……………七六六

(二) 陸運会社の設立……………七六八

(三) 中牛馬の変遷と中牛馬会社……………七七三

(四) 福島駅伝取締所の設立……………七七九

(五) 内国通運会社と内外用達会社……………七八一

四 昭和二年福島大火後の道路  
橋梁の整備……………七九二

五 主要道路の改修……………七九九

(一) 御嶽街道の改修……………七九九

(二) 飛驒街道の改修……………八一一

六 乗合自動車と貸切乗用車の登場	八二五
------------------	-----

七 通信制度の変遷	八三一
-----------	-----

(一) 福島郵便局の沿革	八三一
--------------	-----

(二) 電話の普及	八三七
-----------	-----

## 第八章 教育 文化

第一節 教育	八四五
--------	-----

一 概説	八四五
------	-----

(一) 明治維新前の教育	八四五
--------------	-----

1 山村家をめぐる学問的環境	八四五
----------------	-----

2 善哉館	八四七
-------	-----

3 寺子屋	八四八
-------	-----

(二) 学制頒布と初期の学校	八五二
----------------	-----

(三) 明治中後期の学校教育	八五五
----------------	-----

(四) 大正・昭和初期の学校教育	八五七
------------------	-----

(五) 戦時下の学校教育	八五九
--------------	-----

二 小学校	八五九
-------	-----

(一) 福島小学校	八五九
-----------	-----

1 発足当時の福島小学校と文忠小学校則	八五九
---------------------	-----

2 昔の学校	八六一
--------	-----

3 門を大事にした新校舎	八六三
--------------	-----

4 開校唱歌と校歌	八六五
-----------	-----

5 むかしの運動会	八六七
-----------	-----

6 大正時代の学校	八六八
-----------	-----

7 福島大火と学校	八六九
-----------	-----

8 大脇自笑 三村伝先生頌徳碑	八七一
-----------------	-----

9 戦時下の教育と食糧増産	八七二
---------------	-----

10 終戦当時の福島小学校	八七四
---------------	-----

11 福島小学校沿革概要	八七五
--------------	-----

(二) 上田小学校	八八一
-----------	-----

1 校舎 校地のうつりかわり	八八一
----------------	-----

2 香山退歩先生頌徳碑	八八六
-------------	-----

3 学校林の経営	八八八
----------	-----

4 プログラムに見る運動会	八八九
---------------	-----

5 校旗 校章と校歌	八九一
------------	-----

6 上田小学校沿革概要	八九二
-------------	-----

(三) 黒川小学校	八九四
-----------	-----

1 度重なる学校位置の移転	八九四
---------------	-----

2 児童数の移り変わりと学校の様子	九〇二
-------------------	-----

3 通学の様子と服装	九〇六
------------	-----

	4 黒川小学校の沿革概要……………	九〇七
	三 福島中学校（新制中学校）……………	九〇九
	四 実業補習学校と青年学校……………	九一一
	(一) 実業補習学校……………	九一一
	(二) 青年訓練所……………	九一三
	(三) 青年学校……………	九一四
	五 木曾幼稚園……………	九一四
	第二節 文 化……………	九一七
	一 青年 会(団)……………	九一七
	(一) 青年会の発足と木曾の青年会……………	九一七
	(二) 福島青年団……………	九三〇
	(三) 岩郷青年団……………	九四三
	(四) 新開村青年会(団)……………	九四六
	(五) 上田青年会……………	九五三
	1 明治時代……………	九五三
	2 大正時代……………	九五六
	3 昭和時代……………	九五八
	二 婦人会と女子青年団……………	九六七
	三 人 物 誌……………	九七一
	(一) 伊 東 淳……………	九七一
	(二) 遠藤於菟……………	九七二
	(三) 小野秀一……………	九七四
	(四) 佐藤正太……………	九七五
	(五) 武居用拙……………	九七六
	(六) 三村 伝……………	九七七
	(七) 三村和海……………	九七八
	(八) 家高荒治郎……………	九七九
	(九) 吉村忠道……………	九八〇
	第九章 文 化 財……………	九八五
	第一節 概 観……………	九八五
	第二節 史 跡……………	九八七
	一 福島関跡……………	九八七
	二 木曾福島町の城館址……………	九八九
	(一) 木曾の山城……………	九八九
	(二) 小丸山城……………	九九一
	(三) 上之段城……………	九九一
	(四) 福島城……………	九九二
	(五) 黒川砦……………	九九四
	(六) 狼煙台跡……………	九九四

(七) 山村代官屋敷跡……………	九九五	九 東山觀音堂……………	一〇二七
(八) 中原兼遠館趾……………	九九七	十 板敷野薬師堂……………	一〇二八
(九) 古畑氏館趾……………	九九八	第四節 木曾福島町の民家……………	一〇二九
第三節 神社と寺院……………	一〇〇一	一 はじめに……………	一〇二九
一 水無神社……………	一〇〇一	二 庶民層の民家……………	一〇二九
(一) 社 叢……………	一〇〇一	三 庄屋の家……………	一〇三四
(二) 建造物……………	一〇〇二	四 むすび……………	一〇三五
(三) 絵 馬……………	一〇〇五	第五節 郷土館施設と文化財……………	一〇三六
(四) 美術工芸品……………	一〇〇七	一 木曾福島郷土館……………	一〇三六
二 白山神社……………	一〇〇八	(一) 施設……………	一〇三六
(一) 社 叢……………	一〇〇八	(二) 沿革……………	一〇三六
(二) 建造物……………	一〇一〇	(三) 内容……………	一〇三六
(三) 花火講……………	一〇一二	(四) 資料解説……………	一〇三八
三 荒神社……………	一〇一三	瑞花鴛鴦八稜鏡、紙本墨書大般 若波羅密多經百卷、木曾惣図、懸 仏、蘇門筆牡丹に眠り猫の図、樵 唱集、奈良井村書出之事、紀徳民 書簡、木曾草花根皮類標本帳、黒 漆塗提篋筒、乾漆武家弁当箱、織 部焼井戸車、春慶塗関係資料、有 明行燈、額装塗櫛時絵櫛コレクシ	
四 諏訪社……………	一〇一七		
五 手習天神……………	一〇二〇		
六 板敷野八幡宮……………	一〇二二		
七 西方寺……………	一〇二三		
八 大通寺鐘樓門……………	一〇二五		



## 二

## 福島関所資料館

■ン、桶のタガの変遷資料、宿駕籠、山駕籠

(一) 施設……………一〇四二

(二) 沿革……………一〇四二

(三) 内容……………一〇四三

(四) 資料解説……………一〇四三

福島街絵図、関所番所図、尾張国

入女手形、判鑑集、美濃国引越女

手形、女日帰り手形、所替引越女

関所通過の事前通知書、火繩銃、

関所三つ道具

## 三

## 山村代官屋敷

(一) 施設……………一〇四七

(二) 沿革……………一〇四八

(三) 内容……………一〇四八

(四) 資料解説……………一〇四八

清音楼扁額、山村蘇門墨跡、山村

風兆俳諧掛軸、山村良祺筆稻荷大

明神々号掛軸、馬具一式

## 四

## 木曾郷土館

(一) 施設……………一〇五〇

## 五

## 高瀬家藤村資料館

(一) 沿革……………一〇五〇

(二) 内容……………一〇五〇

(三) 施設……………一〇五一

(四) 沿革……………一〇五一

(五) 内容……………一〇五二

## 第六節

## 木曾福島町の石造

## 文化財

## 一 概 要

## 二 石造物にみる人物誌

(一) はじめに……………一〇五五

(二) 木曾義仲と木曾氏……………一〇五七

(三) 木曾代官山村氏……………一〇六一

(四) 武居用拙と用拙をめぐる人々……………一〇六五

## 三 講と石造物

(一) はじめに……………一〇六八

(二) 二十三夜塔と大日如来……………一〇六九

(三) 念仏供養塔……………一〇七三

(四) 名号碑……………一〇七四

(五) 百万遍と十三仏……………一〇七六

	(六) 地藏講と地藏菩薩……………	一〇七七
	(七) 庚申講と庚申塔……………	一〇八二
	(八) 観音……………	一〇八五
	(九) 薬師如来……………	一〇八八
	(十) 不動明王……………	一〇八九
	(十一) 妙見大菩薩……………	一〇九〇
	(十二) 山の神……………	一〇九〇
	(十三) 御嶽信仰と霊神碑……………	一〇九一
	四 生業と石造物……………	一〇九三
	(一) はじめに……………	一〇九三
	(二) 開田記念碑……………	一〇九三
	(三) 野火の記念碑……………	一〇九五
	(四) 虫供養と五穀成就……………	一〇九五
	(五) 蚕玉様……………	一〇九六
	(六) 木曾大工と太子講……………	一〇九七
	(七) 黒川郷共有山の碑と恩賜記念碑……………	一〇九八
	五 木曾馬と馬頭観音……………	一〇九八
	(一) はじめに……………	一〇九八
	(二) 分布と造立数……………	一〇九九
	(三) 型式と造立年……………	一〇九九
	六 旅(交通)と石造物……………	一一〇九
	(一) はじめに……………	一一〇九
	(二) 道祖神……………	一一一〇
	(三) 巡礼供養塔……………	一一一三
	(四) 代参講碑……………	一一一七
	(五) 道標……………	一一二〇
	七 文学碑……………	一一二二
	(一) はじめに……………	一一二二
	(二) 芭蕉句碑……………	一一二二
	(三) 横井也有句碑……………	一一二四
	(四) 山村良由詩碑……………	一一二五
	(五) 藤村文学碑……………	一一二五
	(六) 太田水穂歌碑……………	一一二八
	(七) その他……………	一一二八
	八 神社の石造物……………	一一二八
	(一) はじめに……………	一一二八
	(二) 鳥居……………	一一二九
	(三) 水鉢……………	一一二九
	(四) 信仰……………	一一〇〇
	(五) 出征軍馬の碑……………	一一〇四

	(四) 石燈籠……………	一一三〇
	(五) 狛犬……………	一一三二
九	高遠石工と福島……………	一一三三
	(一) はじめに……………	一一三三
	(二) 守屋貞治の石仏……………	一一三三
	(三) 守屋以暁と宮下鉄也……………	一一三五
十	興禅寺万松庭の石幢……………	一一三六
第七節	川上正沢念仏講……………	一一三七
一	川上正沢念仏の歴史……………	一一三七
	二念 仏講……………	一一三八
	三 ねはん念仏……………	一一三八
	四 百万遍念仏……………	一一三九
	五 十三仏供養……………	一一四〇
第十章	民 俗	
第一節	はじめに……………	一一四五
第二節	旧黒川村西洞の民俗……………	一一四七
一	社会生活……………	一一四七
	(一) ムラの組織と役員……………	一一四七
	(二) 役……………	一一四七
	(三) てまがわりとおんまい……………	一一四八
	(四) 穀無尽……………	一一四八
二人の一生……………		一一四九
	(一) 産 育……………	一一四九
1	帯結び……………	一一四九
2	出 産……………	一一四九
3	七 夜 祝……………	一一四九
4	夜泣き 虫ふうじ……………	一一四九
5	ハシワタリ(橋渡り)……………	一一四九
6	ハシゾロゲ(エ)……………	一一五〇
	(二) 誕 生 祝……………	一一五〇
	(三) はしか 厄払い……………	一一五〇
1	は し か……………	一一五〇
2	厄 年……………	一一五〇
3	物 忌 み……………	一一五〇
	(四) 婚 姻……………	一一五〇
1	酒 入 れ……………	一一五〇
2	嫁 入 り……………	一一五〇
	(五) 病 気……………	一一五一
	(六) 死 喪……………	一一五一
1	葬式まで……………	一一五一

2 年 忌	一一五	二 主屋と小屋	一一五八
3 形見分け	一一五一	(一) 間取り	一一五八
三 衣 生 活	一一五二	(二) ユルリの座	一一五九
(一) 野良着	一一五二	(三) 屋根がえ	一一六〇
(二) ハレ着	一一五二	(四) 建築儀礼	一一六一
(三) 髪形 かぶりもの	一一五三	六 交通 交易	一一六一
(四) はきもの	一一五四	(一) 道 路	一一六一
(五) 雨 具	一一五四	(二) 茶 屋	一一六一
四 食 生 活	一一五四	(三) 黒川へはじめての自転車	一一六三
(一) 日常の食料	一一五四	(四) 薪背負と駄賃背負	一一六三
1 主食 副食	一一五四	七 生 産 生 業	一一六三
2 調味料	一一五四	(一) はじめに	一一六三
3 山 菜	一一五五	(二) 農 業	一一六五
4 漬 物	一一五五	1 稲 作	一一六五
5 間 食	一一五五	2 畑 作	一一六七
(一) ハレの食事	一一五六	3 養 蚕	一一六七
(二) 食制と食具	一一五七	(三) 畜 産	一一六八
1 食事のとり方	一一五七	1 馬の飼育	一一六八
2 神仏への供物	一一五七	2 かりぼし	一一六八
(四) 救荒食物	一一五八	3 馬 市	一一六九
五 住 生 活	一一五八	4 放 牧	一一六九

5	馬の病氣・死	一一六九
(四)	薪	一一七〇
(五)	炭 焼 き	一一七一
1	炭焼きの生活	一一七一
2	炭 窯	一一七二
3	炭の焼き方	一一七三
(六)	しいたけ	一一七四
八	年中行事	一一七四
九	信 仰	一一八一
(一)	白山神社祭	一一八一
(二)	氏神祭り	一一八二
(三)	家の神様	一一八四
(四)	道の神様	一一八五
(五)	山の 講	一一八五
(六)	念 仏 講	一一八六
(七)	百万 遍	一一八七
(八)	御 嶽 講	一一八七
1	西洞覚明講	一一八七
2	西洞の大日待	一一八八
3	昭和五十五年二月十日のお日待	一一八八

### 第三節 旧上田村町組の民俗

(九)	祈願 忌み 呪い	一一九〇
1	雨ごい	一一九〇
2	田の神	一一九〇
3	忌 木	一一九〇
4	忌 み	一一九〇
一	社会生活	一一九一
(一)	ムラ組と役員	一一九一
(二)	ムラの共有	一一九二
(三)	ムラ仕事	一一九三
(四)	ムラの付き合い	一一九三
(五)	年齢集団	一一九四
(六)	講	一一九四
	太子講、お山講、代参講、念仏講	
二	人の一生	一一九五
(一)	婚 姻	一一九五
1	婚 姻 圈	一一九五
2	婚 約	一一九五
3	荷 運 び	一一九五
4	嫁 入 り	一一九五
5	サカズキ	一一九五

6	式の後……………	一九六
(一)	妊娠 出産……………	一九六
1	妊 娠……………	一九六
2	ツワリ……………	一九六
3	出 産……………	一九六
4	産後の祝い……………	一九六
5	床 上 げ……………	一九七
(三)	産 育……………	一九七
1	子育て用具……………	一九七
2	オミヤマイリ……………	一九七
3	クイゾメ……………	一九七
4	ハツタンジヨウなど……………	一九七
(四)	成長にともなう儀礼……………	一九七
1	七五三の祝い……………	一九七
2	厄 年……………	一九七
3	年 祝 い……………	一九七
(五)	死 喪……………	一九八
1	臨 終……………	一九八
2	死後の供物と使い……………	一九八
3	湯灌 納棺……………	一九八
4	葬 式……………	一九八
三 衣 生 活		
(一)	野 良 着……………	一九九
1	男の野良着……………	一九九
2	女の野良着……………	一九九
3	テ ッ コ……………	二〇〇
4	かぶりもの……………	二〇〇
5	脚 支 度……………	二〇〇
(二)	晴 着……………	二〇〇
1	子どものころ……………	二〇〇
2	お と な……………	二〇〇
3	葬 式……………	二〇〇
(三)	雨具 雪具・防寒具……………	二〇一
(四)	紡 織……………	二〇一
四 食 生 活		
(一)	食 糧……………	二〇一
(二)	貯 蔵……………	二〇一
(三)	調 製……………	二〇一
(四)	食 品……………	二〇二

	(四) 食具……………	一一〇三		(四) 運搬……………	一一〇九
	五 住生活……………	一一〇四		(五) 交易……………	一一一〇
	(一) 屋敷……………	一一〇四		七 生産生業……………	一一一一
	1 屋敷がまえ……………	一一〇四	(一) 稲作……………	1 田……………	一一一一
	2 屋敷内の名称……………	一一〇五	2 耕起……………	2 苗代……………	一一一一
	(二) 主屋と小屋……………	一一〇五	3 田植……………	3 田……………	一一一二
	1 主屋……………	一一〇五	4 田……………	4 田……………	一一一二
	2 土間……………	一一〇五	5 収穫……………	5 調整……………	一一一三
	3 ダイドコ……………	一一〇五	6 調……………	6 調……………	一一一四
	4 マヤゴウンビヤ……………	一一〇七	7 裏作……………	7 裏作……………	一一一四
(三) 間取り……………	一一〇七	(二) 畑作養蚕家畜……………	1 畑作……………	1 畑作……………	一一一四
1 柱……………	一一〇七	2 養蚕……………	2 養蚕……………	2 養蚕……………	一一一四
2 屋根板と葺き方……………	一一〇七	3 家畜……………	3 家畜……………	3 家畜……………	一一一四
3 倉……………	一一〇八	(三) 労働形態……………	1 労働の交換……………	1 労働の交換……………	一一一五
4 チョウズバ(便所)……………	一一〇八	2 刈分け……………	2 刈分け……………	2 刈分け……………	一一一五
5 ゴウンビヤ……………	一一〇八	(四) 林業……………	(五) 狩猟漁撈……………	(五) 狩猟漁撈……………	一一一五
(四) 建築儀礼……………	一一〇八	(六) 野田彦一大正七年農事曆……………			一一一六
六 交通 交易……………	一一〇九				
(一) 他所への道……………	一一〇九				
(二) 田畑への道……………	一一〇九				
(三) 道ぶしん……………	一一〇九				

八年中行事	一二二七
(一) 正月	一二二七
1 正月準備	一二二七
2 正月	一二二八
(二) 春から夏	一二二九
1 春	一二二九
2 夏	一二二九
3 秋	一二三〇
(三) 農耕儀礼と日常生活	一二三〇
1 稲作	一二三〇
2 その他の野良仕事	一二三一
九 信 仰	一二三四
(一) ムラの神仏	一二三五
1 荒神社	一二三五
2 天満宮	一二三五
3 安藤帯刀神社	一二三五
4 薬師様	一二二六
5 金比羅山	一二二六
6 岩戸	一二二六
7 観音様	一二二六
(二) 屋内に祀る神	一二二六

## 十 民俗知識

(三) 講	一二二七
(四) サイノカミ	一二二七
(五) ヤマノコ	一二二七
(一) 俗 信	一二二八
1 前兆	一二二八
2 忌み	一二二八
3 呪術	一二二八
4 産育	一二二八
(二) しつけ	一二二九
1 しつけ	一二二九
2 生業を覚えさせる方法	一二二九
3 一人前の仕事	一二二九
(三) 民間療法	一二二九
第四節 旧岩郷村下条の民俗	一二三一
一 社会生活	一二三一
(一) ムラの組織	一二三一
(二) ムラの共有	一二三一
(三) てまがわりとおんまい	一二三一
(四) 講	一二三一





## 八

(九) 農耕労働……………	二二四六
(八) 裏作……………	二二四六
(七) 畑作……………	二二四七
(六) 家畜……………	二二四七
(五) 養蚕……………	二二四七
(四) 林業……………	二二四八
(三) 狩猟……………	二二四八
(二) 漁撈……………	二二四八
(一) 手工……………	二二四八
八 年中行事……………	二二四九
(一) 年の暮、正月準備……………	二二四九
(二) 正月行事……………	二二四九
(三) 節分……………	二二五二
(四) 山の講……………	二二五二
(五) 初午……………	二二五二
(六) お彼岸……………	二二五二
(七) 節句……………	二二五二
(八) 氏神様のお祭り……………	二二五三
(九) 田植……………	二二五三
(十) 御嶽社祭り……………	二二五三

## 九

(一) お盆……………	二二五三
(二) 収穫祝……………	二二五三
九 信仰……………	二二五四
(一) 下条地区で祀る神……………	二二五四
1 板敷野の八幡宮……………	二二五四
2 弘法様と薬師様……………	二二五四
3 白川様(阿古太丸)……………	二二五五
(二) 山の神……………	二二五五
(三) 田の神と節句……………	二二五六
(四) 蚕神様……………	二二五六
(五) 道祖神……………	二二五六
(六) 講の祭り……………	二二五七
1 御嶽講……………	二二五七
2 念仏講……………	二二五七
(七) 家の中に祀る神……………	二二五八
(八) その他……………	二二五八
第五節 方言調査……………	二二五九
一 黒川西洞の方言……………	二二五九
(一) はじめに……………	二二五九
(二) 私の生育の中から……………	二二五九

(三) 黒川の甚句……………	二六二	(七) 黒川甚句……………	二九五
(四) 野田野御嶽遣拜所……………	二六二	(八) 別所街道 おぼこ しょう	
(五) 生産 生業……………	二六三	がいや ひげ……………	二九五
(六) 方言語彙(沢田たまさんの話の 中から)……………	二六八	(九) おちゃえ……………	二九六
二 福島の方言語彙……………	二七〇	(十) 田植歌……………	二九六
第六節 水無神社のみこしま		(十一) よさこい……………	二九六
くり……………	二八五	(十二) あまくさ……………	二九七
第七節 木曾福島町の民謡……………	二九〇	(十三) 笠づくし……………	二九七
一 木曾踊……………	二九〇	(十四) 木やり唄……………	二九七
二 木曾甚句……………	二九一	(十五) 春 駒……………	二九八
三 土搗唄……………	二九一		
四 高い山……………	二九二		
五 黒川の民謡……………	二九二		
(一) 三拍子……………	二九三		
(二) 横 手……………	二九三		
(三) 伊勢路……………	二九三		
(四) 会津殿様……………	二九四		
(五) 角力甚句……………	二九四		
(六) 黒川おけさ……………	二九四		